

廃プラと漂着ゴミの処理について ／ 新垣雅士

■ 6 番 新垣雅士議員 では質問させていただきます。廃プラ等漂着ゴミの処理について伺いたいと思います。農林水産業用廃プラスチックについては、平成 30 年 11 月に適正処理対策協議会が立ち上げられ、概ね 6 年になります。現在、どのような状況にあるか、また海岸漂着ゴミ対策費として毎年 900 万円程度の予算措置が行われるわけです。その処理については、農林水産廃プラ・漂着ゴミ等を沖縄本島まで運び処理しているわけですが、その現状と費用についてお伺いしたいと思います。農林水産課長。

■議長（金城信光） 農林水産課長。

休憩します。

再開します。

■伊礼直樹農林水産課長 6 番新垣議員の質疑にお答えします。今、皆さんのお手元に配られているプラスチック費用一覧っていうのを、負担分と農家負担、振り込む内訳とある後ろに、令和 2 年から令和 5 年の運搬費用、処理費用、処理数量の一覧表があります。それをご覧ください。これまでの金額としては、運搬費用が廃プラスチック費用として 1,366,200 円、処理費用が 1,855,810 円、合計 3,220,010 円となっています。処理量としては 24,690 キロとなっています。

現状については、令和 2 年から令和 5 年までの処理数及び費用は今のとおりとなっております。一定の農家漁家の負担軽減にはつながっていると考えています。しかし、漁協についての廃プラについては、令和 2 年度に一度処理を行って以来、現在継続して行っていないのが現状となっています。現状、その課題が残っているためちょっと前に進めていない実状があります。令和 2 年度には、漁業組合、役場、漁家、3 分の 1 ずつの補助で実施するところでしたが、漁家のですね、誰のモズク網か分からないということで、組合が 3 分の 2 負担して実施した経緯があります。令和 5 年度にも、令和 6 年度現在も、その令和 2 年の時と実状が変わらない状況になっていまして、まずこのモズク網のものに関して今後また検討をしていく必要があるかと考えています。

今後ですね、このモズク網の処分に関しては、海岸漂着ゴミで、運搬、一応していますけど、その運搬している業者に委託して、処理する民間業者に持っていくということが費用の負担軽減になるかなと考えています。また、クリーンセンターで設置されているチリメーサーが現在使用されていないということで、それもなんとかモズク網を処理できるようなかたちで検討できればなと考えているところであります。以上です。

■議長（金城信光） 新垣議員。

■ 6 番 新垣雅士議員 この一覧見ているんですが、うち（漁協組合）だけでも 300 万近く負担したという経緯もあるんですけども。それはそれでいいとして、今、運搬費で処理する。それをチリメーサーで、例えば一人雇用して、島内で処理するということを検討したことはありますか？

■議長（金城信光） 農林水産課長。

■伊礼直樹農林水産課長 新垣議員の質疑にお答えします。チリメーサーについてはですね、今現在クリーンセンターにありまして、そちらのスペースがちょっと無

いものですから、このモズク網など一気にお持ちいただくと、クリーンセンター自体も作業効率が悪くなるので困るということで、確かあれば移動ができるタイプだと思っているので、基礎とかを少し破碎してっていうのはあるかもしれませんが、場所を移動してそれを利用するようなかたちができるれば、今後の検討として考えていきたいと思っています。以上です。

■議長（金城信光） 新垣議員。

■6番 新垣雅士議員 チリメーサーについては今後考えていくということでありますが、村長、この漂着ゴミを含めてリサイクルする施設的な導入とかの検討はされていますでしょうか。

■議長（金城信光） 名嘉村長。

■名嘉律夫村長 新垣議員の質問に答えます。先ほど農林水産課長からチリメーサーで、処理をする方向でっていうことがあったんですけど、チリメーサーで焼却すると、そこに1日待機しなきゃいけないという非常にリスクがありますので、できれば無人でも網等が処理できるような機械があるということですね、まだ決定ではないですけど、企業版で焼却炉を伊平屋村に入りたいという企業がありますので、これが仮に実現できたら、このプラスチック類が非常に有効に処理されると。紙類は非常に厳しいのがあると思うんですけど、とにかくプラスチック類は、網もそうなんですけどね、漂着ゴミもそうなんですけど、石油製品が非常に処理しやすいというプラントなので、もしこれが実現可能であれば、かなり処理費用も少なくてすむのかなと、低額ですむのかなと思っています。いずれにしても、今、住民課の係長が、実際、名古屋で処理をしているということで、どういう方法でやっているのかとやりとりをしていますので、この結果が出てですね、もし企業版で伊平屋村に入るのであれば、有効に使えるのかなと思います。

いずれにしても、クリーンセンターに持ち込むと非常に窯が、焼却するに当たって費用もかかりますし、時間もかかるというので、なるべく燃やすのはやめて、他の方法で処理した方がいいのではないかと私は思うんですけどね。燃やすっていうのが一番お金もかかるし。いずれにしても、焼却炉を長く持たせるためには燃やさない、紙類はもちろんそうなんですけど、なるべくクリーンセンターに負担にならない程度の方法でやらないと、かなりお金がかかりますので、そういう機種があるのであれば、段階的に導入していけるのかなと思っています。いずれにしても、実際、この物を見てみないとこれが本当に伊平屋に適しているかどうか含めて、検討していかなければいけないと思いますので、時間的に余裕があれば、実際に行って確認をして、それでいけるのであれば、無償で提供すると言っていますので、導入してもいいのかなとそういうふうに考えています。以上です。

■議長（金城信光） 新垣議員。

■6番 新垣雅士議員 村長の答弁ですね、そういう新しい機械があると、使えるかどうかは分からないということでありますが、前向きに検討して、使えるような機械であれば導入して、今言うSDG's持続可能な島を目指す、それからCO2削減、そういう諸々の問題にも貢献していけると思うので、ぜひ早めに検討、それから実現に向けて頑張ってもらいたいというふうに思います。以上でこの件については質問を終わります。